



ずくま！

みんなでつくる ずっといいまち くまとりちゅうがっこう

第2号 2026.6.18

イーエスディー
ESDとは…

Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育) の略語。

さまざまな現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、将来にわたって持続可能な社会の実現をめざす、「持続可能な社会」の創り手を育む教育のことです。



【ESD関連用語の紹介】

太平洋戦争

=1941年12月に開戦し、1945年の8月に終結した日本と連合国の戦争。日本が最後に経験した戦争です。沖縄では戦争末期の1945年3月から住民をまきこんだ地上戦が行われ、多くの民間人が犠牲になりました。

沖縄慰霊の日(6.23)

=沖縄県では、沖縄戦の組織的戦闘が終結した6月23日を、戦没者の霊をしずめ、再び戦争が起こることのないように平和をいのる日として、「沖縄慰霊の日」と定めています。



3年生が修学旅行に이었습니다

5月28日から30日までの3日間、3年生が修学旅行で沖縄へ行きました。沖縄修学旅行では、美しい豊かな自然にふれ、地域の人々や文化との出会いをたくさん経験しました。また、沖縄は太平洋戦争時に、住民をまきこんだ壮絶な地上戦が戦われた場所であり、戦争の悲惨さや命の尊さを後世に伝えるものがたくさん残された場所でもあります。3年生は、社会科や総合的な学習の時間に事前学習を重ね、「平和とは何か」についてたくさん考えてきました。平和祈念公園で平和セレモニーを行い、平和宣言を発表して、全校のみんなでつくった千羽鶴を届けました。ひめゆり平和祈念資料館も見学し、3年生のみなさんにとって、きっと大切な一日になったことと思います。それぞれ大事な人のことを思い、平和への願いを強くすることができたのではないのでしょうか。

平和学習実行委員さんにインタビュー！

3年生の平和学習をリードした実行委員のみなさんにインタビューをしてみました。少しですが、実行委員さんの言葉を紹介したいと思います。

戦争で亡くなった12万人の名前が丁寧に刻まれているのを見て、本当に一人ひとりがこの地で生きていて、亡くなったんだと実感しました。	戦争の時代のことなどを学習して、自分の意見や思いをもつことがとても大切だと感じました。命や言葉の重みも知りました。	実際にガマを見学したり、資料館の映像や遺留品などを見たりして、戦争によって多くの命が失われたことをよりリアルに感じました。
実行委員活動をしてよかったと感じています。学年の全員と一緒に学びたいと思ったし、責任を感じることもできました。千羽鶴も、みんなが協力してくれて、嬉しかったです。	一生懸命考えた平和宣言文のことが印象に残っています。「当たり前」って、当たり前じゃないんだなあと思いました。	

実行委員さんは、沖縄でたくさんの方を感じ、学んだと話してくれました。そして、その思いを1・2年生のみなさんにも伝えたいと語っていました。7月には、3年生からの沖縄修学旅行報告集会が予定されています。こんなふうに思いが「つながる」学校って、なんだかとても素敵だなあと感じました。

1・2年生からもあたたかいメッセージ！

修学旅行に行く3年生に、下級生のみなさんがあたたかいメッセージポスターを作成しました。2年生が『なんくるないさ』、1年生が『おかえり』の寄せ書きメッセージを書きました。



6月23日は「沖縄慰霊の日」です。ぜひテレビや新聞などのニュースに注目し、一人ひとりが平和を考えることの大切さについて、考えてみましょう。